

2021 年 1 月 18 日

「東京 2020 パラリンピック競技大会」水泳競技

日本代表推薦選手選考方針と基準について

(一社) 日本知的障害者水泳連盟

(一社) 日本身体障がい者水泳連盟

I 選考方針

標記大会への代表推薦選手の選考にあたっては、2019 年 6 月 6 日付公益財団法人日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会（以下「JPC」という）の「日本代表選手団編成方針」を基に、メダル獲得または入賞の可能性のある選手を選考する。

尚、選考（方法）については、東京 2020 パラリンピック競技大会水泳日本代表選手選考委員会（以下「選考委員会」という）を設け、これが 2021 年 5 月 23 日（開催予定）に選考した後日本身体障がい者水泳連盟、及び、日本知的障害者水泳連盟の常務理事会の承認を経て、JPC へ推薦する。

II 選考基準

1. 2020 年 2 月 15 日に、世界パラ水泳連盟 World Para Swimming（以下「WPS」という）から配分された、男子 14 枠、女子 13 枠、計 27 枠の範囲内で選考する。枠の追加配分があった場合は、別途検討する。

2. 選考と基準

(ア) 第 1 選考

2021 年 5 月 23 日に開催予定の選考委員会において、2021 年 5 月 21 日から 23 日にかけて開催予定の「2021 ジャパンパラ水泳競技大会(以下「2021 ジャパラ」という)」の記録（予選と決勝）により、派遣基準記録を突破した選手を選考する。

(イ) 個人種目選考基準

- ① 「2021 ジャパラ」において、別に定める派遣基準記録（WPS が公表している 2019 年 11 月 3 日 17:10 時点（日本時間）の東京 MQS ランキング 3 位の記録に対する到達度 98%の記録）を突破した選手を選考する。

* 派遣基準記録は、メダル獲得の可能性を基準として設定した。

*派遣基準記録の計算は次の計算式で行った。

派遣基準記録=MQS ランキング第3位の記録/0.98

- ② ①の基準を突破した選手が同クラスに4名以上いる場合には、上位3名を選考する。
- ③ ②において、同タイムの選手が複数存在するために上位3名を決定する事が出来ないときは、「推薦順位決定レース」により決定する。実施方法はその都度決定する。
- ④ 派遣基準を突破した選手の数、WPSより与えられた男女別枠数を超えた場合、①の東京MQS ランキング3位の記録に対する到達度の高い選手から順に選考される。
- ⑤ ④の結果、同じ到達度の選手が複数存在するため順位付けが出来ない場合、「2021年5月16日7:00時点（日本時間）での東京MQS ランキング（以下、「0516東京MQS ランキング」という）」のより上位の選手から順位付けをする。
- ⑥ ロンドン2019パラ水泳世界選手権にて優勝し、推薦内定を与えられた3名の選手（木村敬一、東海林大、山口尚秀）は、推薦内定を獲得した種目で「2021ジャパラ」に出場することにより、推薦内定種目の推薦が決定する。
- ⑦ ⑥の推薦内定選手が、「2021ジャパラ」になんらかの理由により出場できなかった場合は、選考委員会にて推薦の可否を審議、決定する。
- ⑧ 上記のII.2.(イ).①~⑤に該当する選手が、国際パラリンピック委員会 International Paralympic Committee（以下、「IPC」という）が定める東京2020パラリンピック競技大会出場資格を満たしていない場合は「保留扱い」*1としてJPCに仮推薦する。2021年6月30日までに出場資格を満たした上で、「2021ジャパラ」の記録が派遣基準記録を突破している場合は推薦が決定する。

(ウ)リレー種目

- ① メダル獲得または入賞の可能性のあるリレー種目の対象選手を、第2選考にて選考する。
- ② リレー種目の派遣基準記録の設定はしない。

3. 第2選考と基準

(ア)第2選考

2021年5月23日に開催予定の選考委員会において、その時点で下記、(イ)または(ウ)に示す基準を満たしている選手の中から選考する。

(イ)個人種目選考基準

- ① 「2021ジャパラ」の記録（予選と決勝）により、東京MQSを突破した選手から

選考する。

- ② 「0516 東京 MQS ランキング」に「2021 ジャパパラ」の記録を当てはめて、上位選手から下位選手へ順位付けを行う。この順位付けは、男女別に行う。^{*2}
- ③ ②の結果、複数選手が同順位となった場合、「0516 東京 MQS ランキング」3位の記録に対する到達度の高い選手から順位付けを行う。
- ④ 指定感染症や特定非常災害等やむをえない理由で、「2021 ジャパパラ」に出場できなかった場合、「第 37 回日本パラ水泳選手権大会（以下、「第 37 回日本パラ」という）」の記録を参考記録とし、選考委員会にて推薦の可否を審議、決定する。
指定感染症に罹患した場合は診断書などの医療機関の証明証を選考委員会に提出すること。
- ⑤ 上記のⅡ.3.（イ）.①~④に該当する選手で、IPC が定める東京 2020 パラリンピック競技大会出場資格を満たしていない場合は、2021 年 6 月 30 日までに出場資格を満たすまで「保留扱い」^{*1}として JPC に仮推薦する。

（ウ）リレー種目選考基準

- ① 2018 年 10 月 1 日以降、2021 年 5 月 23 日までに WPS 公認大会で東京 MQS を個人種目で突破している選手の中から選考する。
- ② 「2021 ジャパパラ」のリレー対象種目の記録により、各クラス上位から記録順にリストアップする。
- ③ ②の結果、同クラスに同タイムの選手が複数存在するために、順位付けが出来ない場合、「推薦順位決定レース」を実施する。実施方法はその都度決定する。
- ④ ②のリストを基準に、リレー種目ごとに 4 名の合計記録で最も速い組み合わせのチームを編成する。
- ⑤ ④で編成されたチームの合計記録を基に、「0516 東京 MQS ランキング」に当てはめて、上位チームから下位チームへ順位付けを行う。^{*3}
- ⑥ ⑤の結果、同順位となった場合、「0516 東京 MQS ランキング」3位の記録に対する到達度の高いチームから順位付けを行う。リレー種目の選考は、対象選手 4 名の合計記録で選考するため、3.（イ）の個人種目では順位が下位であっても選考されることがある。
- ⑦ 指定感染症や特定非常災害等やむをえない理由で、「2021 ジャパパラ」に出場できなかった場合、「第 37 回日本パラ」の記録を参考記録とし、選考委員会にて推薦の可否を審議、決定する。
指定感染症に罹患した場合は診断書などの医療機関の証明証を選考委員会に提出すること。
- ⑧ 上記のⅡ.3.（ウ）.①~⑦に該当する選手で、IPC が定める東京 2020 パラリンピック競技大会出場資格を満たしていない選手が 4 名の中に 1 人でも該当している場

合、2021 年 6 月 30 日までに出場資格を満たすまで、対象となるリレー種目は 4 名とも「保留扱い」*1として JPC に仮推薦する。

- ⑨ リレー種目により選出された選手が辞退した場合、該当リレー種目で選出された他の選手の決定を取り消すことはしない。

(エ)個人種目とリレー種目の選考の順位付け

- ① 「0516 東京 MQS ランキング」に、II.3. (イ) . (ウ) の結果を当てはめて、個人種目とリレー種目(チーム)の区分けなく、上位から下位へ順位付けを行う。この順位付けは、男女別に行うが、リレー種目のミックスについては男女両方に順位付ける。
- ② ①の結果、複数が同順位となった場合、「0516 東京 MQS ランキング」3位の記録に対する到達度の高い選手(リレーの場合はチーム)から順位付けを行う。

4. 第3選考と基準

(ア)第3選考

2021 年 5 月 23 日に開催予定の選考委員会において、第2選考の後、WPS から配分された参加枠が余った場合、2018 年 10 月 1 日以降、2021 年 5 月 23 日までに WPS 公認大会で東京 MQS を突破している選手から選考する。

(イ)個人種目選考基準

上記の 3.(イ).②~⑤に則って選考する。

(ウ)リレー種目

リレー種目の選考はしない。

5. 補欠について

(ア)補欠選考

- ① 2021 年 5 月 23 日に開催予定の選考委員会において、2018 年 10 月 1 日以降、2021 年 5 月 23 日までに WPS 公認大会で東京 MQS を突破している選手から補欠を男女各 2 名選考する。
- ② 上記の II.3. (イ) .②~⑤、及び(ウ) .①~⑨に則って選考する。
- ③ 第3選考までの時点で「保留扱い」選手がいる場合、男女それぞれの保留扱い選手と同数を、「補欠」として追加選考する。

(イ)有効期間

- ① 上記の II.5.(ア).①については 2021 年 5 月 23 日から 8 月 2 日 12:00 までとす

る。この日までに、代表選手の辞退等があった場合は代表選手に繰り上げて選考するが、辞退等がない場合はこの日をもって補欠選手は落選となる。

- ② 上記のⅡ.5.(ア).③については、2021年5月23日から6月30日までとする。
2021年6月30日までに「保留扱い」選手が出場資格を満たして推薦決定した場合は、その日をもって追加された補欠選手は落選となる*1。「保留扱い」選手が2021年6月30日までに出場資格を満たせなかった場合は、補欠が繰り上がり推薦決定となる。

6. 指定感染症、特定非常災害等の影響による措置について

(ア)「2021 ジャパパラ」が中止となった場合

- ① 2021年3月6日から7日に実施予定の「第37回日本パラ」の記録を参考記録とする。
- ② 海外在住者で、指定感染症に起因する入国制限等により「第37回日本パラ」に参加できなかった場合、「第37回日本パラ」から「2021 ジャパパラ」までの期間に実施されたWPS公認大会の記録を参考記録とする。
- ③ 選考は2021年5月23日に開催予定の選考委員会において審議、決定する。

(イ)「第37回日本パラ」「2021 ジャパパラ」の両方が中止となった場合

- ① WPS公認大会で東京MQSを突破している選手を対象に記録会を開催し、その記録を参考記録とする。
- ② 前項記録会の日程及び実施方法については別途決定し、通知する。
- ③ 選考は2021年5月23日に開催予定の選考委員会において審議、決定する。

*1 「2021 ジャパパラ」までに出場資格を満たしていない場合、「2021 ジャパパラ」にて派遣基準記録を突破しても「保留扱い」となる。第2選考以降においても同様の扱いとなる。
その場合の選考順位付けは以下の通りとなる。

(2021年6月30日まで有効)

例示

2021年5月23日時点での選考順位付け						2021年6月30日までに保留選手が出場資格を満たした場合					
選考会の結果	派遣基準	MQS	出場資格	推薦		選考会の結果	派遣基準	MQS	出場資格	推薦	
1	A選手	突破	突破	○	決定	1	A選手	突破	突破	○	決定
2	B選手	突破	突破	○	決定	2	B選手	突破	突破	○	決定
3	C選手	突破	突破	○	決定	3	C選手	突破	突破	○	決定
4	D選手	突破	突破	○	決定	4	D選手	突破	突破	○	決定
5	E選手	突破	突破	○	決定	5	E選手	突破	突破	○	決定
6	F選手	突破	突破	○	決定	6	F選手	突破	突破	○	決定
7	G選手	突破	突破	未	保留	7	G選手	突破	突破	○	決定
8	H選手	突破	突破	○	決定	8	H選手	突破	突破	○	決定
?	?					?	?				
19	I選手	x	突破	○	決定	19	I選手	x	突破	○	決定
20	J選手	x	突破	未	保留	20	J選手	x	突破	○	決定
21	K選手	x	突破	○	決定	21	K選手	x	突破	○	決定
?	?					?	?				
27	L選手	x	突破	○	決定	27	L選手	x	突破	○	決定
補欠1	M選手	x	突破	○	補欠	補欠1	M選手	x	突破	○	補欠
補欠2	N選手	x	突破	○	補欠	補欠2	N選手	x	突破	○	補欠
補欠3	O選手	x	突破	○	補欠	補欠3	O選手	x	突破	○	落選
補欠4	P選手	x	突破	○	補欠	補欠4	P選手	x	突破	○	落選

*2 東京 2020 パラリンピック水泳競技の資格規定には、「各 NPC は、メダル対象種目 1 種目につき出場資格をもつ選手を最大 3 名までエントリーすることができる」とされている。その為、メダル対象種目につき同じ NPC の選手が 4 名以上いる場合は、1NPC につき上位 3 名までに絞ったランキングを採用する。

例示

0516MQSランキング			1 NPCにつき3名のMQSランキング		
1	A選手	JPN	1	A選手	JPN
2	B選手	JPN	2	B選手	JPN
3	C選手	JPN	3	C選手	JPN
4	D選手	JPN	4	E選手	GBR
5	E選手	GBR	5	F選手	USA
6	F選手	USA	6	G選手	ITA
7	G選手	ITA	7	H選手	CAN
8	H選手	CAN	8	I選手	AUS
9	I選手	AUS	9	J選手	AUS
10	J選手	AUS	10	K選手	GER

また、MQS ランキング掲載の記録は 2018 年 10 月 1 日以降に MQS を突破した最も速い記録が掲載されている為、「2021 ジャバラ」の記録が MQS に掲載されている記録より遅い場合がある。その場合は、「2021 ジャバラ」の記録を当てはめて「ランキング順位相当」として評価し、順位付ける。その際、MQS ランキング掲載の記録は除外した上でのランキングとする。

例示

0516MQSランキング			2021ジャバラでの記録			2021ジャバラの記録を当てはめたMQSランキング			2021ジャバラでの記録			順位付け
1	A選手	JPN	25.00	25.00		1	A選手	JPN	25.00			(1位)
2	B選手	JPN	26.00	29.00		2	C選手	JPN	27.00			(2位相当)
3	C選手	JPN	27.00	27.00		3	E選手	GBR	28.00			
4	E選手	GBR	28.00			4=	B選手	JPN	29.00			(4位相当)
5	F選手	USA	29.00			4=	F選手	USA	29.00			
6	G選手	ITA	30.00			6	G選手	ITA	30.00			
7	H選手	CAN	31.00			7	H選手	CAN	31.00			
8	I選手	AUS	32.00			8	I選手	AUS	32.00			
9	J選手	AUS	33.00			9	J選手	AUS	33.00			
10	K選手	GER	34.00			10	K選手	GER	34.00			

- *3 個人の記録を合計している為、リレー種目として MQS ランキングには掲載されない。
その為、合計記録をランキングに当てはめて「ランキング順位相当」として評価し、順位付ける。

例示

0516MQSランキング			2021ジャバラでの記録の合計タイム		2021ジャバラの記録の合計タイムを当てはめたMQSランキング			順位付け
1	GBR	3:50.00			1	GBR	3:50.00	
2	USA	3:55.00			2	USA	3:55.00	
3	ITA	4:00.00			3	ITA	4:00.00	
4	CAN	4:05.00			4	CAN	4:05.00	
5	AUS	4:10.00			5	JPN	4:09.00	(5位相当)
6	JPN	4:15.00	4:09.00		6	AUS	4:10.00	
7	RUS	4:20.00			7	RUS	4:20.00	
8	GER	4:25.00			8	GER	4:25.00	

III 選考に前後して必要な準備と日程

推薦選手が決定される前後に、対象となる選手は準備として WPS、JPC、連盟に対して様々な手続きが必要である。正式には別途通知するが、概ねその時期や、提出書類及びその対象選手は下記に示す通りである。手続きに必要な書類を理由なく期限までに提出しない選手は、推薦を辞退したものととして取扱う。

(ア) 2021 年 3~4 月

日本選手団公式ユニフォームの採寸（対象選手、条件は追って通知する）

(イ) 2021 年 3 月 31 日まで

- ① 東京 2020 パラリンピックのアクレディテーション関係書類の提出
- ② 東京 2020 パラリンピックの推薦調書関係書類の提出

(ウ) 2021 年 2 月 23 日以降に受診し、結果の提出は 3 月 20 日まで 健康診断（MET 突破以上の選手）

(エ) 2021 年 5 月 23 日代表推薦選手の決定以降

速やかに東京 2020 パラリンピックの水泳競技エントリー種目等の調査

IV その他

この方針に定めのない事項については、選考委員会が審議し決定する。

参考—

(ア) 2019 年 6 月 6 日付 日本パラリンピック委員会

東京 2020 パラリンピック競技大会日本代表選手団方針及び選手選考・決定手順

(イ) 東京 2020 水泳競技出場資格・メダル配分・日程など基準参考翻訳及び英文

以 上